



MIKATA NEWS

タイトルの「MIKATA」とは、三方原の三方、利用者の皆様の味方、いろいろな角度からの見方の意味を含めました。
地域医療連携室より地域の皆様へ最新情報をお伝えします。



【2026年3月 保険適用開始】治療抵抗性高血圧に対する新たな選択肢 「腎デナベーション治療」のご案内



循環器科 部長
川口 由高
(カワグチ ヨシタカ)

日本内科学会総合内科専門医 カテーテル的大動脈弁置換術（TAVR）実施医／指導医
日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医／施設代表医

地域の先生方におかれましては、日頃より当院の診療にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
2026年3月より、治療抵抗性高血圧に対する新たなカテーテル治療である**腎デナベーション(Renal Denervation: RDN)治療が公的医療保険の適用**となりました。当院では関連学会の「適正使用指針」に準拠した実施施設として体制整備を進め、このたび2026年7月に**腎デナベーション治療実施施設の認定を取得**いたしました(認定番号:F-RDN-000104)。また、4月より高血圧専門外来を開設し、治療抵抗性高血圧をはじめとする管理困難な高血圧患者さんの診療体制を強化しております。

高血圧は脳卒中、冠動脈疾患、心不全、心房細動、慢性腎臓病などの重要な危険因子であり、適切な診断と治療介入が求められます。RDN治療は、薬物療法のみでは十分な降圧効果が得られない患者さんに対する新たな治療選択肢として期待されています。

つきましては、対象患者さんおよび当院での診療・治療の流れについてご案内申し上げます。

循環器科

このような患者さんのご紹介をお願いいたします



コントロール不良高血圧

2剤以上の降圧薬を使用しても、
診察室血圧140/90mmHg以上又は
家庭血圧135/85mmHg以上



急激な血圧上昇を認める

発作性に収縮期血圧180mmHg以上へ
著明に上昇する



若年発症の高血圧

40歳未満で高血圧を指摘された方



血圧変動が大きい

血圧値が安定せず、薬の調整が難しい

ご紹介から治療のながれ

1 精密検査・評価

二次性高血圧の評価として

- ・各種ホルモン検査
- ・必要に応じて画像検査

早朝高血圧コントロール不良の患者さんでは「夜間高血圧」

「睡眠時無呼吸症候群」の可能性を考慮し

- ・24時間自由行動下血圧測定 (ABPM)
- ・終夜睡眠ポリグラフ検査

を実施しております

2 治療方針の決定

二次性高血圧を除外したうえで、利尿薬を含む3剤以上の降圧薬を使用しても血圧コントロールが不良な治療抵抗性高血圧患者さんについては、RDN治療の適応を検討し、**高血圧腎デナベーション治療チーム**で症例ごとに**評価**を行っています。

3 治療と経過観察

腎デナベーション治療を施行した患者さんにつきましては、**治療後約3か月を目安**に紹介元の先生へ**逆紹介**させていただく予定です。その後の日常的な血圧管理は地域の先生方をお願いしながら、当院でも6か月～1年ごとに経過観察を行い、**長期的な治療効果や臓器障害の評価を継続**してまいります。

今後も高血圧診療において地域の先生方と連携しながら、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供してまいります。ご紹介のほどよろしくお願い申し上げます。

ご予約・お問い合わせ 地域医療連携室までご連絡ください

初診予約申し込みはWEBも可能！！

【連携室直通】0120-811-559 / 053-439-0001

【FAX番号】053-439-0002

【受付時間】月～金：8時30分～19時00分

土：8時30分～13時00分／祝祭日は除く

24時間
365日

いつでも
操作可能

予約情報を
スマホで
入力するだけ



WEB診察予約申し込み